和

されました。 のもと士気高揚を目的に伊佐 自らの手で守る」という精神 市陸上競技場で出初式が開催 1月10日、「自らの地域は

技が披露されました。 児による防火の誓いと集団演 用ポンプ操法、大口里保育園 ドで幕をあけ、規律訓練、操 400人の消防団員・消防署 あった団員・家族等に対する 法訓練、梯子乗りの演技、腕 消防ラッパ隊を先頭に、約 また、消防団活動に功績が 員や消防車両などのパレー

○消防庁長官表彰

功労章

久森敏朗 堂園郁夫

(第9分団団員) (第17分団分団長) (第16分団分団長)

中越勇(団長)

○日本消防協会表彰

今村謙作 (副団長)

池畑悟史(第1分団団員) 亀居修一 (第2分団班長)

早水貴志(第3分団団員) 原水勝巳(第3分団団員)

森山誠(第4分団団員) (第4分団団員)

竹内義人(第9分団団員) 橋本貴宏(第6分団団員)

亀園幸範 **大野道治** (第14分団団員) (第13分団団員) (第11分団団員)

受章されました。

表彰式も行われ、次の方々が

山下博敏(第15分団団員) 酒瀬川幸(第14分団団員)

消防団員協力事業所 ・株式会社 山下運輸

· 医療法人恵明会 整形外科松 元病院

平川亨(石井班) 鶴田公紀(里町班) 退任消防後援会長

岩元一郎(堂崎班) 北園三雄(白木班)

○鹿児島県消防協会姶良伊佐支 部長表彰(15年勤続)

20年勤続団員の家族 野平榮一 (第8分団団員)

岡野秀司

(第7分団団員

下原和幸(第3分団団員) 住吉真人(第7分団副分団長)

山下信一 長野吉泰(第5分団分団長) 森義信(第4分団分団長) (第16分団副分団長)

亀割浩介(第13分団班長 長谷川雄二(第7分団班長) 宮原功(第16分団班長) (第13分団班長)

棈松良平(第3分団団員 横山和行 **水吉勇治** (第3分団団員 (第1分団団員

塩屋空海(第11分団団員) 今堀賢治 (第4分団団員

中村浩久(第4分団班長) 長野彰(第7分団班長) 沖田芳博(第9分団副分団長) 15年勤続章

柿ノ迫友則(第9分団班長 児玉省作(第10分団班長) 児島信一郎(第10分団班長)

今村浩二(第1分団団員 森田誠(第1分団団員) 神薗剛太(第1分団団員

赤崎清照(第2分団団員 高濱毅(第2分団団員)















大迫和央輝(第1分団団員)

柿木伸一 10年勤続章 村元正(第14分団団員) 田代晃一 山口貴士(第6分団班長) 藏原これあき(第1分団班長) 亀園幸範 永峰昭二 岡崎芳照(第9分団団員) 迫幸博(第7分団団員) **獎薗誠一** 前田康経(第6分団団員) 呂田充朗(第4分団団員) 西口雄貴(第3分団団員) 帖佐誠(第3分団団員) 山下博敏(第15分団団員) 小原治男(第14分団団員) 竹内義人(第9分団団員 **大友則人** A宮司博志(第4分団団員) (第11分団団員) (第6分団団員) (第7分団団員) (第7分団団員

栗巣義朗(第6分団団員) 一(第9分団団員 (第9分団団員 (第4分団団員) (第13分団団員) 功労章 中越勇(団長) 吉野了磨(第15分団団員) 木場一喜(第13分団団員) 有木健祐(第10分団団員) 山下祐介(第15分団団員) 開隆将(第9分団団員) 丽田和範(第17分団団員) 賈満尚也(第17分団団員) **①消防庁長官表彰** 工栫修一郎(第16分団団員)

早水貴志(第3分団団員)

福元昭一(第8分団団員)

丸田博敏

①日本消防協会表彰

今村謙作(副団長 ①県消防協会表彰

脇迫修二(第12分団班長) 谷口和彦(第13分団副分団長) 竹原研二(第15分団分団長) 功績章(20年勤続) **大野美智人(第11分団班長)**

牟田浩一 寺師友明 沖田義博 吉満清司 土瀬戸修 (第11分団団員) (第11分団団員) (第6分団団員) (第9分団団員) (第7分団団員)

甲島速男(第3分団団員)

中村守男 (第6分団副分団長) 吉松直樹(第2分団分団長) 精績章(15年勤続) (第17分団団員)

久保田慶久(第16分団団員) 瓦勇治(第15分団団員) 福田友和(第13分団団員)

西ノ原久(第6分団団員) 中村龍之介(第6分団団員) 小水流竜司(第5分団団員) 髙山真司(第5分団団員) 古里勇人(第4分団団員) 吉村栄樹(第2分団団員

園田辰三

(第14分団団員)

中間弘典

(第12分団団員

生駒泰志 前田烒志 島内雅史 酒瀬川幸(第14分団団員 緒方裕二 丸山春樹 長岡達朗 坂元初実 大山博喜 **人野道治** (第13分団団員 (第2分団団員 (第6分団団員) (第12分団団員 (第11分団団員 (第10分団団員) (第8分団団員) (第7分団団員) (第6分団団員

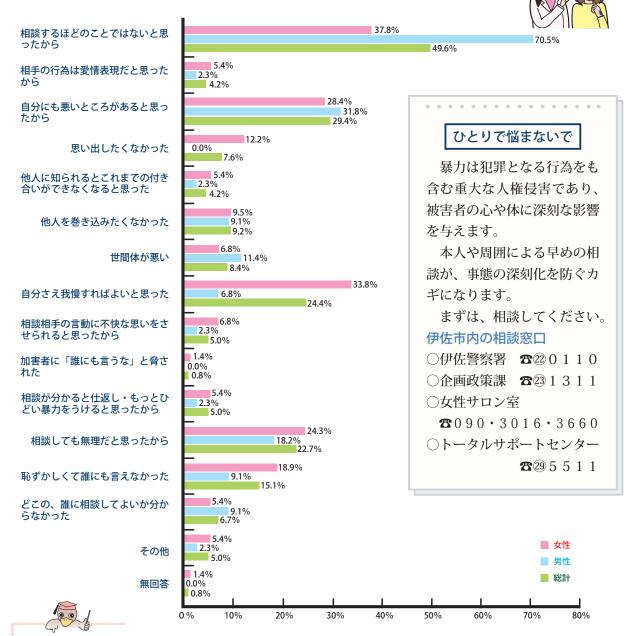
竹之内信二(第1分団団員) 10年勤続章 上村広盛(第5分団団員)

砂田健一 安田哲郎 原田一男 帖佐秀雄 前田慎一 神田顕正 黒木幸彦 有満隆明 有郷豊喜 小田原宏 上田次郎 (第1分団団員) (第11分団団員 (第10分団団員) (第9分団団員 (第6分団団員) (第6分団団員 (第4分団団員 (第1分団団員) (第8分団団員) (第7分団団員 (第11分団団員

橋脇礼(第1分団団員) 池畑悟史(第1分団団員) 坂口泰宏(第1分団団員) ○県知事表彰

被害についての相談先は公的機関ではなく、「家族や親戚」「友人・知人」など私的な範囲での相談が4割以上を占める一方で、「だれにも相談しなかった」と回答した人も4割以上いました。 その理由については【表2】のとおりです。

暴力を受けた時に相談しなかった(できなかった)理由 【表2】



相談しなかった理由については、「相談するほどではない」と回答した人は性別問わず総計で50%を占めていますが、「自分さえ我慢すればよいと思った」の回答では、男性6.8%に対し、女性は33.8%と高く、女性の3人に1人が我慢しているという結果です。

「相談しても無理」が2割、「自分にも悪いところがある」が3割と、暴力を容認する意識が高く、誰にも相談できない暴力の潜在化がうかがえます。

あなたが自分らしく生きるために、ひとりで悩まないで相談してください。

★男女共同参画「出前講座」受付中です。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先 企画政策課共生協働推進係 ☎231311

男女共同参画社会

伊佐市は男女共同参画基本計画に基づき、男女平等の社会、男女の人権が尊重され 個性と能力を発揮し活力ある社会をめざしています。

平成 26 年に 20 歳以上 80 歳未満の市民 2,000 人を対象に行った「市民 意識調査」の項目の一つ「配偶者等からの暴力」の調査結果について、平成 21 年の結果と比較したものが【表 1】のとおりです。

身体に対する暴力を受けた 21 年と 26 年比較 【表1】



平成 26 年の結果から、身体的暴力を受けた経験が「何度も」または「 $1 \cdot 2$ 度」あったと 回答した人は、性別問わず総計でみると 19.8%で約 5 人に 1 人ですが、女性は 24.7%で約 4 人に 1 人が「あった」と回答しています。その中でも多いのが $50 \sim 69$ 歳という結果です。

内閣府の全国調査では女性の約6人に1人なので、伊佐市は高い数値であるといえますが、 21年の調査結果よりは数値が下がっているのがわかります。

男の生き方セミナー

「将来のことをゆっくり考える余裕がない」 そんな男性の皆さん、1日だけ立ち止まってこ れからの生きるスタイルを考えませんか。

事前申込が必要です。

日 時 2月20日(土)

13 時 30 分~ 16 時 30 分

場 所 かごしま県民交流センター東棟3階 (大研修室第2) 駐車場あり

対 象 30代・40代の男性30人

受講料 無料

託 児 あり (要予約) 30代・40代男性が

申込・問い合わせ先

県男女共同参画センター

2099 • 221 • 6603

女性サロン室

開催日 毎月第1・3水曜日

時 間 13時30分~16時

場 所 大口仲町旧安楽ヨシ子様宅

連絡先 090・3016・3660

あなたが自分らしく生きるために、一緒に考えます。

